

平成30年度(2018年度)～令和4年度(2022年度)認知症に関する事業の実績及び決算額 No.1

	事業名	対 象	内 容	年度	実績	決算額		
1	認知症サポーター養成事業	市内在住・在勤・在学の方・市内の企業・団体等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府等による研修を受講した「キャラバン・メイト」を講師として、認知症サポーター養成講座を開催する。</li> <li>・市主催講座の他、市内の企業・団体等にも開催を呼び掛けている。</li> <li>・認知症サポーターやキャラバン・メイトに対してフォローアップ研修を実施している。</li> </ul>	平成30年度 (2018年度)	開催回数:77回 受講者数:2,808人	230,722円		
				令和元年度 (2019年度)	開催回数:63回 受講者数:2,267人	184,580円		
				令和2年度 (2020年度)	開催回数:17回 受講者数:249人	65,970円		
				令和3年度 (2021年度)	開催回数:32回 受講者数:528人	679,411円		
				令和4年度 (2022年度)	開催回数:42回 受講者数:952人	145,746円		
2	認知症高齢者見守り事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹田市内に住所を有する者のうち、徘徊し、又は徘徊するおそれのある者で、事前に事業の利用申請を行っている者等(ただし、市長が緊急を要すると認めるときは、この限りではない)</li> <li>・徘徊高齢者SOSネットワーク協力事業者</li> </ul>	<p>事前に事業の登録申請を行っている認知症高齢者等が行方不明になった際に、徘徊高齢者SOSネットワーク協力事業者として登録している地域の様々な業種の事業者等に、対象者の特徴等を記載した情報をFAX送信する。</p> <p>協力事業者は、日常業務の中で捜索を行い、発見した場合には、最寄の交番あるいは警察署、高齢福祉室に連絡する。</p>	平成30年度 (2018年度)	登録協力機関:498事業所 捜査依頼件数:5件	78,072円		
				令和元年度 (2019年度)	登録協力機関:633事業所 捜査依頼件数:4件	42,564円		
				令和2年度 (2020年度)	登録協力機関:552事業所 捜査依頼件数:1件 令和3年1月末終了	78,314円		
				吹田市内に住所を有する者のうち、徘徊するおそれがある認知症等の者でいずれかに該当する者(1)認知症の確定診断が出ている者、(2)認知症高齢者の日常自立度がⅡa以上の者(3)今後、認知症の医療受診を検討している者、(4)その他市長が必要と認める者	<p>利用者の衣服や持ち物等にステッカーを張り付けることで、行方不明になった際に発見者がステッカーの情報を活用することで、家族等と直接連絡をとり、身元確認及び保護を行う。</p> <p>また、専用アプリにより家族等から捜索依頼ができ、市民や民間事業者等が捜索に協力できる。</p>	令和2年度 (2020年度)	延申請者数95人 アプリダウンロード数 3,011件 捜索依頼件数(アプリ) 76件 ID転送通報件数 53件 令和2年8月開始	944,900円
					令和3年度 (2021年度)	延申請者数126人 アプリダウンロード数 6,147件 捜索依頼件数(アプリ) 223件 ID転送通報件数 109件	579,300円	
					令和4年度 (2022年度)	延申請者数183人 アプリダウンロード数 7,799件 捜索依頼件数(アプリ) 291件 ID転送通報件数 211件	820,362円	

## 平成30年度(2018年度)～令和4年度(2022年度)認知症に関する事業の実績及び決算額 No.2

	事業名	対 象	内 容	年度	実績	決算額	
3	認知症高齢者 見守り事業	徘徊高齢者家族支援 サービス	本市に居住するおおむね65歳以上の徘徊のみられる認知症の高齢者の同居家族	対象者に徘徊高齢者位置検索システム専用端末機及び専用充電器等を貸し出し、端末機を徘徊高齢者に携帯させることにより、徘徊高齢者が行方不明になったときに、端末機を利用した位置検索システムにより徘徊高齢者の現在位置を特定し、その位置を対象者に連絡する。	平成30年度 (2018年度)	延利用者:472人	645,113円
					令和元年度 (2019年度)	延利用者:529人	736,765円
					令和2年度 (2020年度)	延利用者:501人	698,072円
					令和3年度 (2021年度)	延利用者:344人	549,639円
					令和4年度 (2022年度)	延利用者:289人 令和5年3月末終了	400,835円
4	認知症地域 サポート	地域住民(連合自治会)、民生・児童委員、地区福祉委員、高齢者支援事業者、吹田警察署、吹田市消防本部、小学校、社会福祉協議会、認知症サポーター、医療機関、地域包括支援センター等	地域において地域住民(民生・児童委員、地区福祉委員、高齢者支援事業者含む)とともに実行委員会を設置し、認知症サポーターの養成や地域で高齢者を支える人たちのネットワークづくりに取り組む。認知症の人や家族の立場に立った支援を考える具体的取組として、徘徊高齢者役の人を探して声をかける「徘徊高齢者捜索模擬訓練」を実施し、事業の取組について報告会を行う。	平成30年度 (2018年度)	実施地区:玉の井・吹三 訓練参加者数:26人・48人	112,269円	
				令和元年度 (2019年度)	なし	0円	
				令和2年度 (2020年度)	なし	0円	
				令和3年度 (2021年度)	なし	0円	
				令和4年度 (2022年度)	なし	0円	

平成30年度(2018年度)～令和4年度(2022年度)認知症に関する事業の実績及び決算額 No.3

事業名		対 象	内 容	年度	実績	決算額	
5	認知症施策推進事業	認知症初期集中支援推進	40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で、次のいずれかの基準に該当する者。 (1)適切な医療サービス及び介護サービスを受けていない者 (2)医療サービス又は介護サービスを受けているが認知症による行動又は心理症状が顕著であるため、その対応が困難である者	認知症が疑われる人、認知症の人やその家族に対して、支援チーム員(医療系及び介護系専門職)が訪問し、専門的な知識・技能を有する医師の助言を受けながら、適切な医療・介護サービスにつなげる等安定した在宅生活を送るための支援を行う。  認知症初期集中支援チーム委託先:(医)協和会	平成30年度(2018年度)	支援対象者件数:68件 (うち新規支援対象者件数:52件) 訪問回数:413回 チーム員会議:40回	10,128,164円
					令和元年度(2019年度)	支援対象者件数:52件 (うち新規支援対象者件数:29件) 訪問回数:287回 チーム員会議:44回	10,155,963円
					令和2年度(2020年度)	支援対象者件数:61件 (うち新規支援対象者件数:49件) 訪問回数:453回 チーム員会議:46回	10,187,170円
					令和3年度(2021年度)	支援対象者件数:66件 (うち新規支援対象者件数:39件) 訪問回数:324回 チーム員会議:43回	10,276,000円
					令和4年度(2022年度)	支援対象者件数:56件 (うち新規支援対象者件数:38件) 訪問回数:424回 チーム員会議:45回	11,062,000円
6	認知症地域支援・ケア向上	市民、介護保険事業者・医療機関等関係機関	認知症に対する医療又は介護に係る専門的知識及び在宅ケアの実務・相談業務の経験のある専門職である認知症地域支援推進員を配置し、認知症に係る関係機関同士のネットワーク構築、ケア関係者の対応力向上等認知症の人や家族を地域で支える地域づくりのための支援を行う。  認知症地域支援・ケア向上事業委託先:(福)燦愛会  ・認知症カフェは地域の団体等が自主的に運営等を行っているものであり、認知症地域支援・ケア向上事業によって配置された認知症地域支援推進員が、認知症カフェの周知や運営に関する支援などの後方支援を行う。	平成30年度(2018年度)	認知症ケアパス 2,000部作成 認知症総合支援事業評価検討委員会:2回 認知症カフェ:21か所	6,818,740円	
				令和元年度(2019年度)	認知症ケアパス 5,000部作成 認知症総合支援事業評価検討委員会:2回 認知症カフェ:24か所	6,614,929円	
				令和2年度(2020年度)	吹田市認知症総合支援業務委託事業者選定等委員会:2回 認知症カフェ:22か所	6,623,308円	
				令和3年度(2021年度)	認知症ケアパス 5,000部作成 吹田市認知症総合支援業務委託事業者選定等委員会:1回 認知症カフェ:22か所	6,654,000円	
				令和4年度(2022年度)	吹田市認知症総合支援業務委託事業者選定等委員会:1回 認知症カフェ:18か所	6,654,000円	